
QA25 庭の放射線量を測りましたが、空間線量率の高い場所がありました。なぜですか

風に乗って飛んできた放射性物質が雨などによって地面に落ちるときに、落ち方がまばらだったり、落ちた直後に雨で流されて一箇所に集まったりするため、局所的に放射性物質の濃度が高い場所ができていることがあります。雨水と一緒に流されてきた塵などの溜まりやすい雨どいの下などが、その例です。一般的に、アスファルトなどの道路より、土の表面で放射性物質の濃度が高くなる傾向にあります。また、草や枯れ草の上に落ちた放射性物質はそのまま溜まりやすいと言われています。

なお、庭などの土壌が攪拌されていない限り、福島第一原発事故によって放出された放射性セシウムのほとんどは、現在も土壌の表面数 cm 以内に留まっていると考えられています。従って表面の土壌を除去すると、庭の空間線量率をある程度下げることができます。ただし、 γ （ガンマ）線は庭の外からも届くため、庭だけを処置しても空間の放射線量が下がらない場合もあります。

出典：放射線医学総合研究所ウェブサイト「放射線被ばくに関する Q&A」より作成

出典の公開日：2012 年 4 月 13 日

本資料への収録日：2012 年 12 月 26 日